

ごあいさつ

長崎県立小浜高等学校は昭和24年に県立口加高等学校小浜分校として開校、昭和35年に県立小浜高等学校として独立し、今年創立77年目を迎えます。地域の方々から「浜高」と親しまれ、これまで卒業された1万2千余名の優秀な先輩方は、国内外のあらゆる分野で活躍されています。これは卒業された先輩方が、校訓である「誠実な人」の精神を社会で実践されてきた結果であると思っています。「誠実な人」とは、常に他者に対し「思いやり」と「感謝の心」をもって接し、自らの強い意志と高い理性で正しいと信じたことを最後までやり遂げる人のことです。

「浜高」の教育方針は以下の4点です。

- (1) 思いやりの心を育み、何事にも感謝の気持ちを持って取り組む「誠実な人」を育成する。
- (2) 「知・徳・体」の調和のとれた、心身共に健康で自主性のある社会人を育成する。
- (3) 小浜高校の生徒として自覚と自負心を養い、協働性・連帯感を深め、明るく創造的な校風を確立する。
- (4) 郷土を愛する心を培い、郷土の核となり、信頼に応える人材を育成する。

本年度のキャッチフレーズを「生徒が創り、動かす学校 ～君が主役、小浜から世界へ～」努力目標として「生徒が創り、動かす学校」「ワンランク上の進路実現」を掲げ、生徒一人ひとりが自分の可能性を自覚し、その能力を発揮できる機会を多くつくること、思いやりと主体性を持ち、他者と認め合い、互いに長所を活かしながら協働する楽しさを経験させることに注力していきます。

浜高では、浜高生の安全・安心を守ることを第一に、生徒自らが「気づき、考え、行動する」の浜高3Kの志を実践することを促し、一人ひとりの成長に向けた指導・支援を丁寧に進めて参ります。このホームページをご覧の皆様には、浜高生及び浜高教職員とともに「チーム浜高」に参画していただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

長崎県立小浜高等学校 校長 島田 朋成

小浜高校の教育方針（令和8年度）

1 校訓 『誠実な人』

2 教育方針 → 人間力の強化（感謝と思いやり・考動力・満喫力・郷土愛を育成する）

- (1) 思いやりの心を育み、何事にも感謝の気持ちを持って取り組む「誠実な人」を育成する。
(→感謝と思いやり)
- (2) 「知・徳・体」の調和のとれた、心身共に健康で自主性のある社会人を育成する。(→考動力)
- (3) 小浜高校の生徒として自覚と自負心を養い、協働性・連帯感を深め、明るく創造的な校風を確立する。(→満喫力)
- (4) 郷土を愛する心を培い、郷土の核となり、信頼に応える人材を育成する。(→郷土愛)

3 キャッチフレーズ

「生徒が創り、動かす学校」 ～君が主役、小浜から世界へ～

4 学校経営方針 生徒一人ひとりに向き合った、徹底した協働性と団結力

- (1) 教員が率先して自己研鑽に励み、誇りと使命感を持って職務に当たる。
- (2) 生徒たちに激動の社会や様々な困難を乗り越えていくための生きる力を身につけさせる。
- (3) 様々な課題に対しては、個人ではなく「チーム浜高」として全職員で粘り強く対応する。
- (4) 地域を愛し、保護者の方々や地域の方々と協働して魅力ある学校づくりを推進する。

5 令和8年度の努力目標 「生徒が創り、動かす学校」と「ワンランク上の進路実現」

- 校訓「誠実な人」の具現化に一層努めると共に、教員間および学校と地域の連携体制を充実させ、「情報の共有」・「教育活動の相互支援」を強化して、学校・地域の活性化を図る。
 - ①「ワンストップ挨拶励行」・「掃除」・「授業」を通して「誠実な人」へ近づいていく。
 - ②地域と関わり学ぶ機会を作るなど、地域の教育力を活かした取組や地域との連携を強化する。
- 「生徒が創り、動かす学校」作りの取組を通して、生徒の人間力の強化を図り、「自律の精神」・「やりきる力」を身につけさせ、「ワンランク上の進路実現」につなげる。
 - ①生徒一人ひとりに自分の可能性を自覚させ、その能力を発揮できる機会を多くつくる。
 - ②思いやりと優しさの心を育み、他者を認め互いの長所を活かしながら、協働する楽しさを経験させる。

【継続すること】

- (1) 生徒支援の充実に努める。(生徒の自己肯定感を高める)
- (2) 学習指導の工夫改善をおこない学力の向上に努める。
- (3) 進路指導の充実・強化に努める。
- (4) 健康・安全教育の充実と環境美化の推進に努める。

【重点項目】

- (5) 部活動の活性化、学校行事・生徒会活動の精選・注力に努める。
- (6) 教職員・生徒全員で、学校の取組を地域に伝える活動を積極的に行う。

※(1)～(6)すべてにおいて、組織力（担任・学年・分掌・部活動・管理職・地域）の強化を図る。